MODELLISTA

MSD43-30009/10

リヤスパッツ

取付・取扱要領書

この度はリヤスパッツ（MODELLISTA）をお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。

★ 本製品は登録後の架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MSD43-30009-A0	プレシャスホワイトパール（090）	クラウン（エステート）	
MSD43-30009-C0	ブラック（202）		
MSD43-30009-C1	ニュートラルブラック（229）		
MSD43-30010-NP	未塗装品（プライマー未処理）		

・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。https://www.modellista.co.jp/

MODELLISTA

■ 構成部品

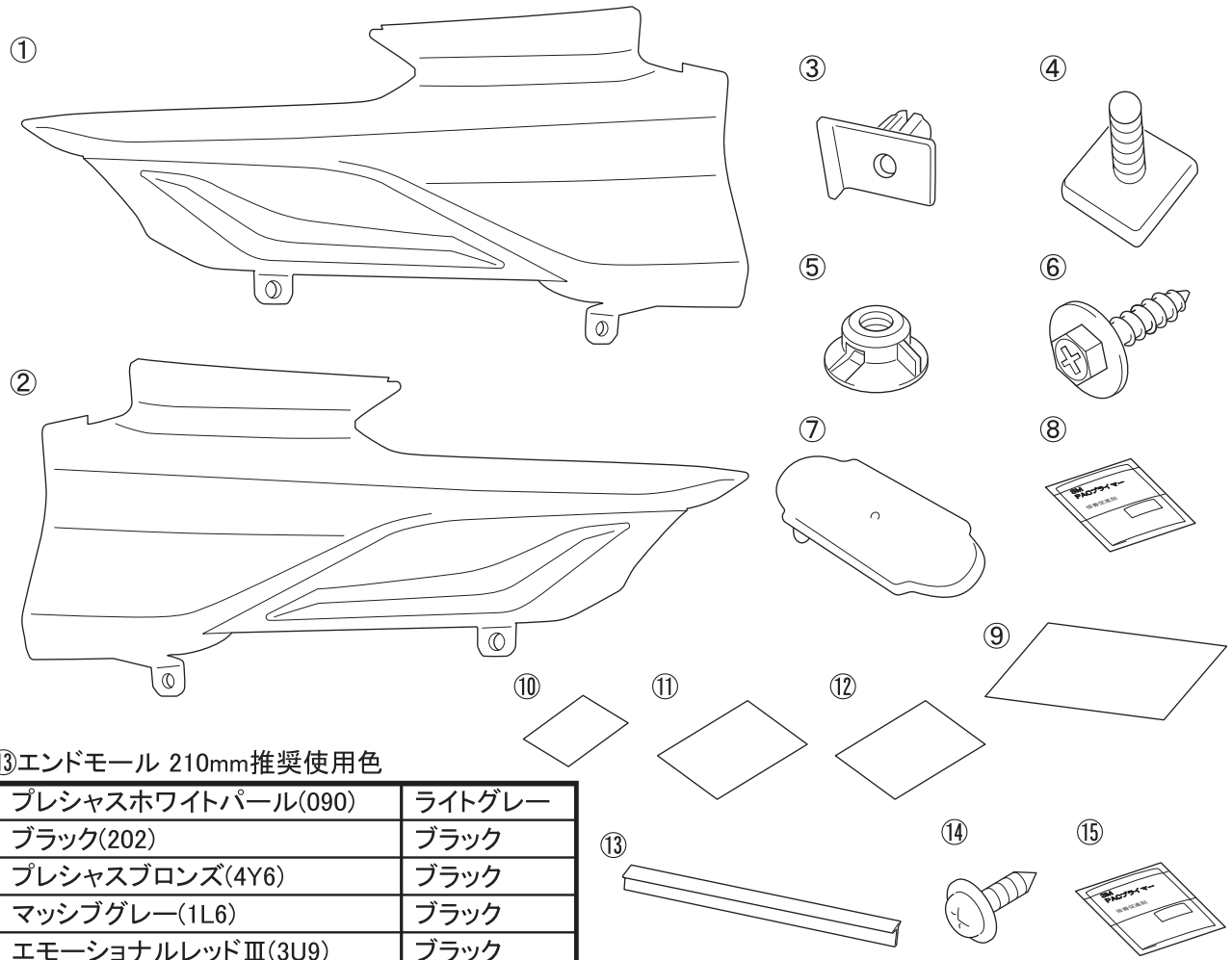
No.	部品名	品番	数量	備考
①	リヤスパッツRH	―――	1	
②	リヤスパッツLH	―――	1	
③	グロメット	―――	4	M6
④	Tボルト	―――	4	M6
⑤	クリップナット	―――	4	M6
⑥	スクリュー	―――	4	M6
⑦	ケガキ部品	―――	2	
⑧	PACプライマー N-210NT	08867-00250	1	赤袋
⑨	型紙シール	―――	1	
⑩	カーボンシート	―――	1	白色・A6
⑪	取扱書	―――	1	
⑫	脱脂要領書	―――	1	

以下、MSD43-30010（未塗装品セット）のみに同梱

No.	部品名	品番	数量	備考
⑬	エンドモール 210mm	―――	各2	ブラック/ライトグレー
⑭	スクリュー	―――	6	
⑮	PACプライマー K-500	08867-00230	1	青袋

※開梱時に本体破損がないこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

■ 構成部品図



⑬エンドモール 210mm推奨使用色

プレシャスホワイトパール(090)	ライトグレー
ブラック(202)	ブラック
プレシャスブロンズ(4Y6)	ブラック
マッシブグレー(1L6)	ブラック
エモーショナルレッドⅢ(3U9)	ブラック
ニュートラルブラック(229)	ブラック
スモーキーブルー(8X0)	ブラック

■取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行う前は必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠ 警 告　この警告に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注 意　注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。

アドバイス　スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠やってはいけないこと　　❗必ず行っていただくこと

⚠ 警 告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。

❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

❗ 走行後のマフラーは大変高温になっています。冷めないまま作業を行った場合、火傷などの重大な危険性があります。必ずマフラーが完全に冷めたことを確認してから作業を行ってください。

⚠ 注 意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

❗ エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり部品を取付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエーターキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。ラジエータキャップに限らず、用品取付け作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

❗ 本商品の装着により、タイヤとタイヤハウスとの隙間が少なくなる場合があります。洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶつけたりしないよう、ご注意ください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力が低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が 20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は 49N(5kgf) 以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取付け後 24 時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。

❗ 本商品に塗装する際は、両面テープを全面マスキングしてください。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので 70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

品番・適合車種 ……1
構成部品 ……2
構成部品図 ……2
取付け上のご注意（取付け作業者の方へ） ……3
目次 ……4
取付けに必要な工具・保護具・消耗品 ……4
保証について ……4
取付構成図 ……4
取付け要領 …… 5 ～ 12
取付け完了後の点検・注意事項 …… 13
未塗装品の取扱いについて ……14 ～ 15
補修キット両面テープ貼り位置 …… 16

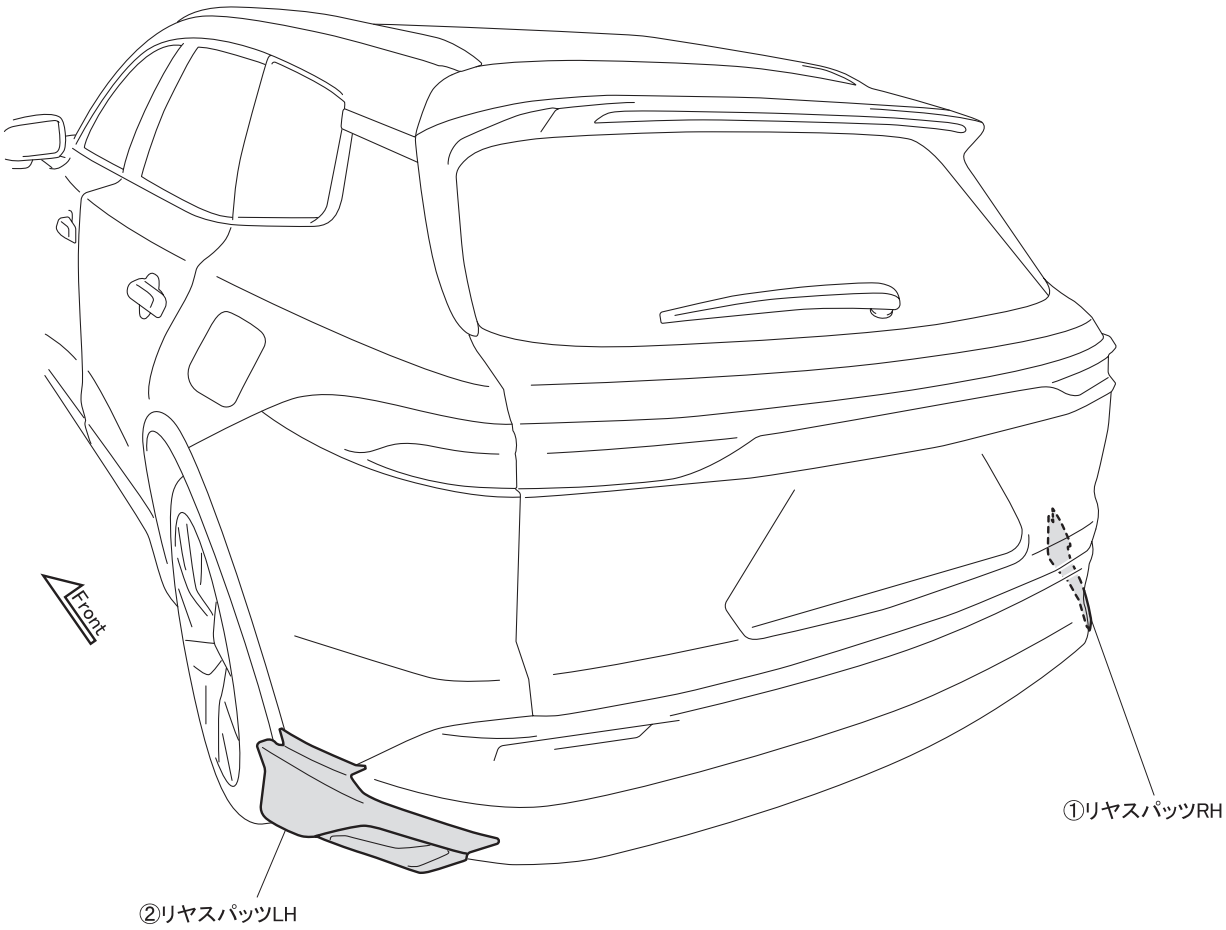
■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具・クリップリムーバー・スケール・マスキングテープ・養生テープ・ガムテープ・ケガキ針
・電動ドリル・ドリル（φ3、φ6、φ10）・保護めがね・保護シート・清潔なウエス
・イソプロピルアルコール（IPA）

■ 保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。
（1年、または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はMODELLISTAパーツカタログサイト＜https://www.modellista.co.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

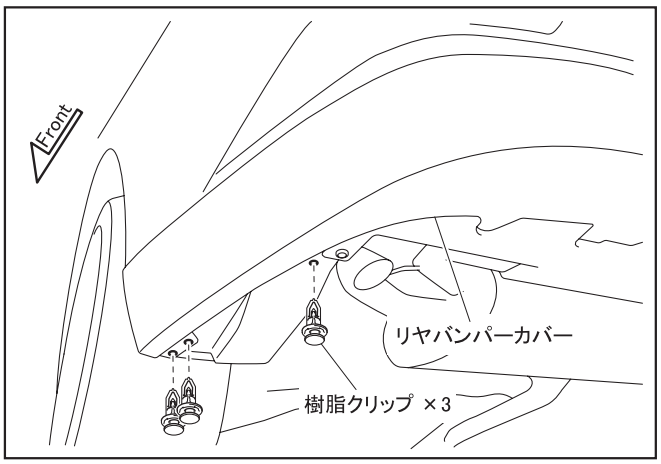
■ 取付け構成図



TT-GE-001

■ 取付け要領

本書は、LH 側の取付け作業要領を記載していますが、
RH 側も同様の手順で取付け作業を行ってください。



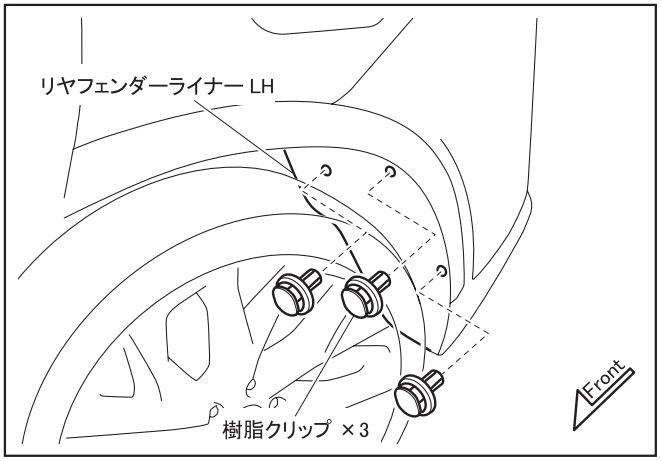
TT-GE-A01

・部品の取外し

1. リヤバンパーカバー左側の樹脂クリップ（3 個）を取外す。

⚠ 注 意

- 取外しの詳細は、トヨタ自動車㈱発行の修理書を参照してください。
- 取外した車両クリップ、ビス等は再使用しますので紛失しない様ご注意ください。

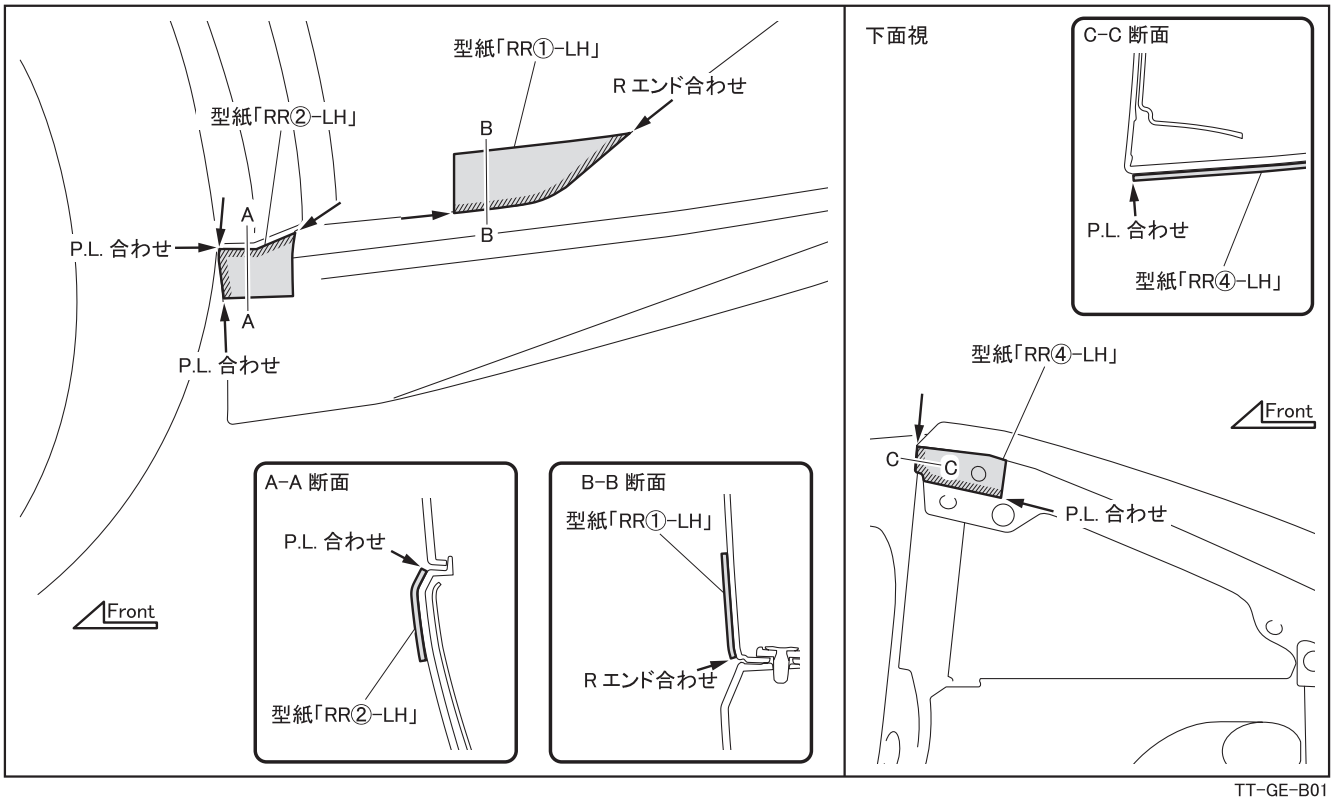


TT-GE-A02

2. リヤフェンダーライナー LH の樹脂クリップ（3 個）を取外す。

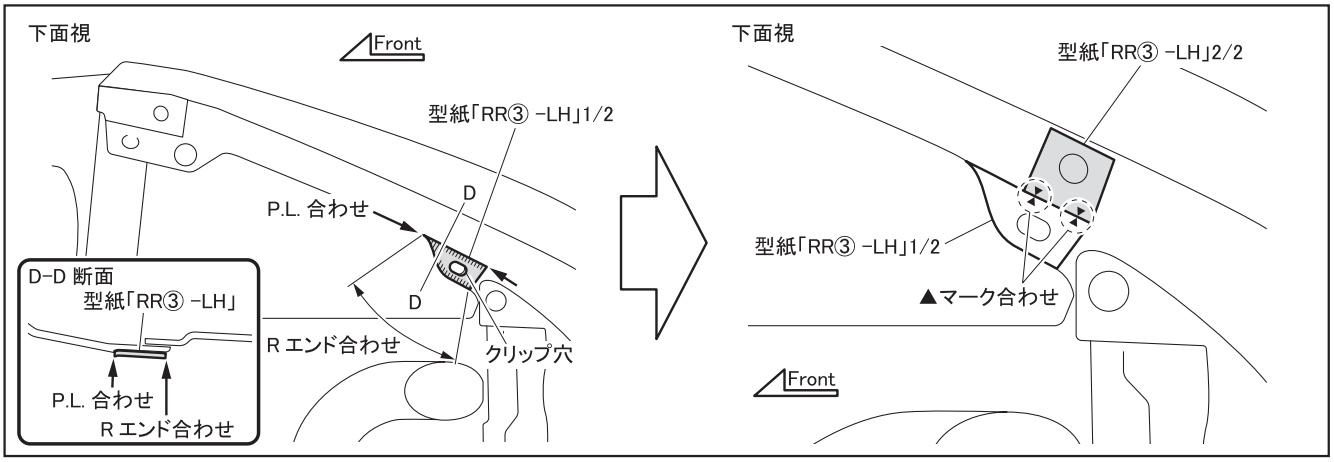
・マーキング作業

1. リヤバンパーカバー左側に型紙「RR ① -LH」、「RR ② -LH」及び「RR ④ -LH」を貼り付ける。

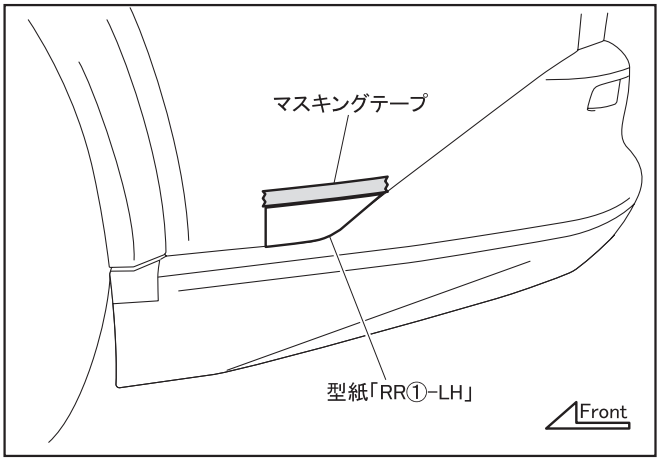


TT-GE-B01

2. リヤバンパーカバー左側下面に型紙「RR ③ -LH」を貼り付ける。



TT-GE-B13

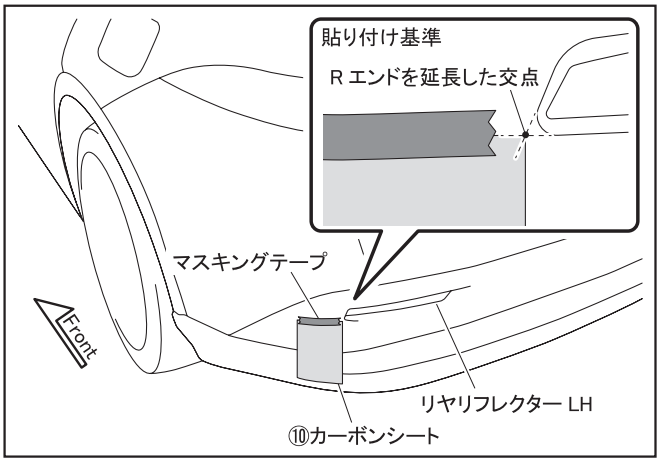


TT-GE-B02

3. 型紙「RR ① -LH」の上端にマスキングテープを貼り付ける。
4. 型紙「RR ① -LH」を剥がす。

アドバイス

この後、マスキングテープをリヤスパッツの位置決めに使用します。マスキングテープは型紙「RR ① -LH」の上端に沿って正確に貼り付けてください。



TT-GE-B03

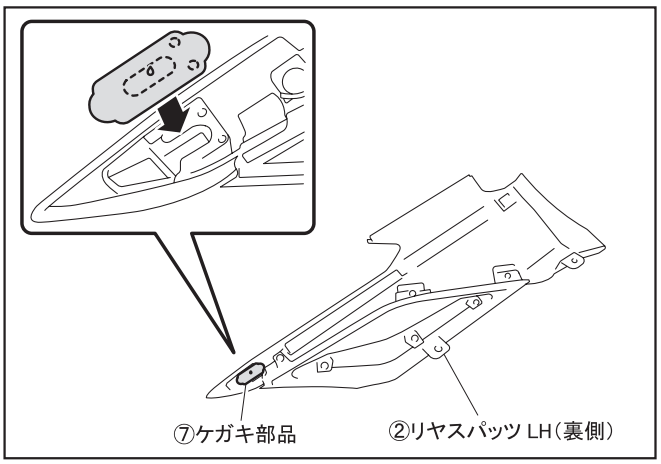
5. ⑩カーボンシートを位置決めし、マスキングテープでリヤバンパーカバーに貼り付ける。

アドバイス

穴開け加工位置を転写する作業となります。

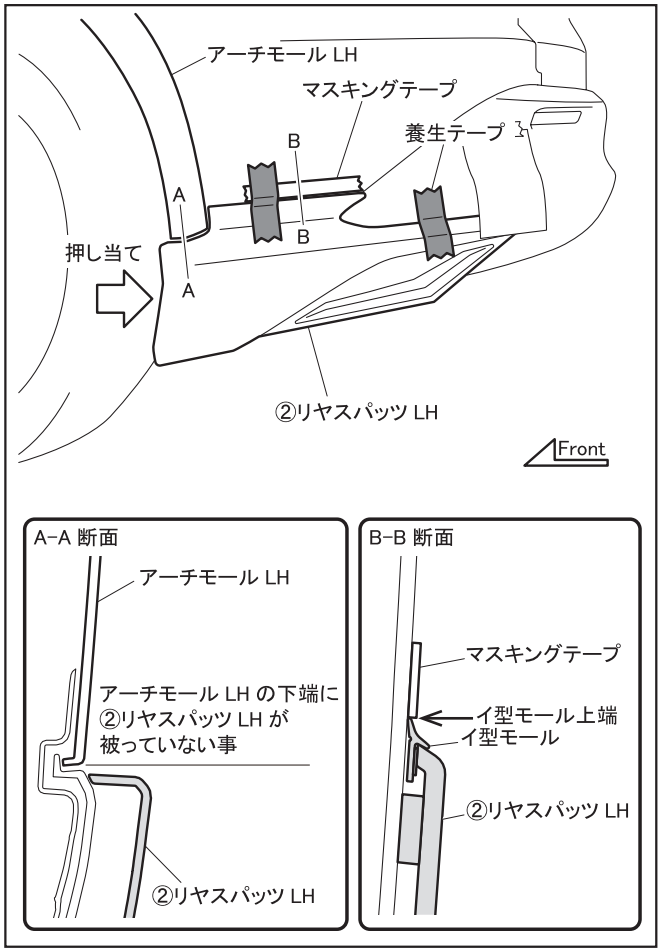
⚠ 注 意

- ⑩カーボンシートは、白い面をリヤバンパーカバー側に向けて貼り付けてください。
- ⑩カーボンシートは、しわ・たるみが無いよう貼り付けてください。
- 貼り付け後は表面を擦らない様に注意してください。



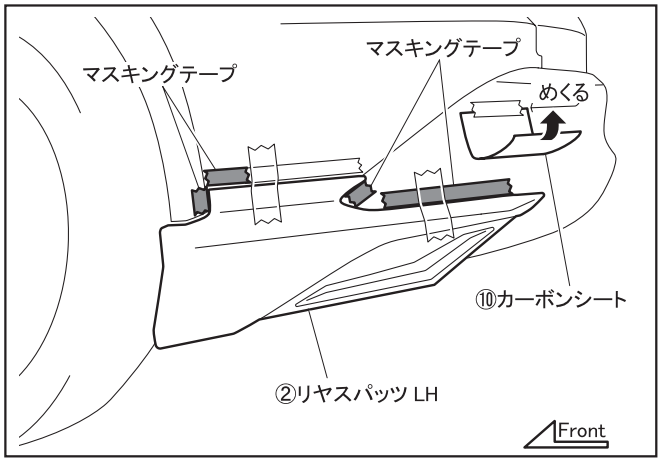
TT-GE-B04

6. ⑦ケガキ部品（1 個）を②リヤスパッツ LH の図の位置にセットする。



TT-GE-B05

7. ②リヤスパッツ LH を位置決めし、養生テープでリヤバンパーカバーに仮固定する。

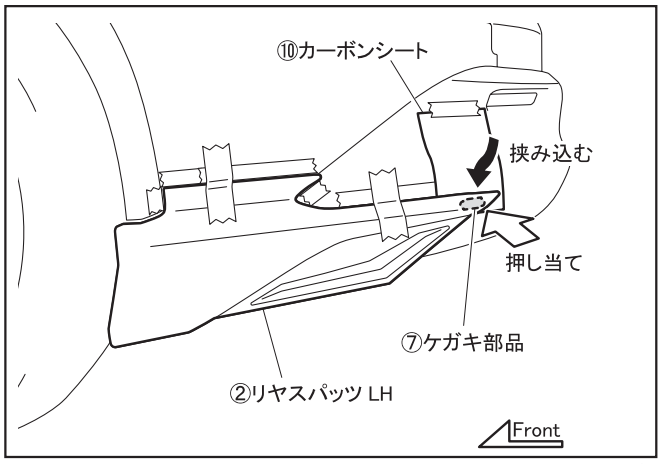


TT-GE-B06

8. ⑩カーボンシートをめくり、②リヤスパッツ LH 外周に沿って、図の位置にマスキングテープを貼り付ける。

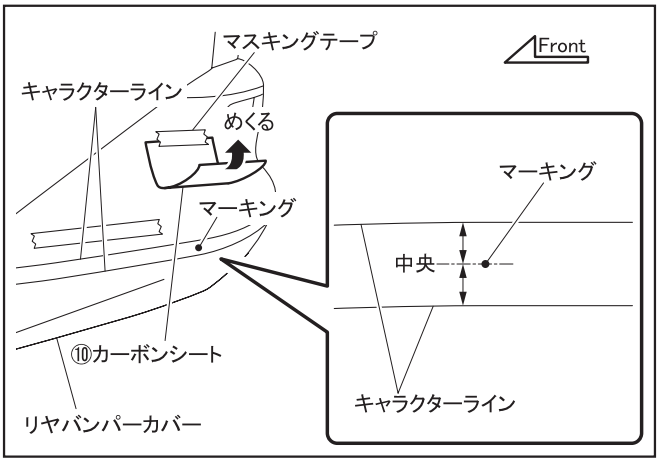
アドバイス

この後、リヤスパッツ LH を取外して再取付けする際、ここで貼り付けたマスキングテープを位置決めに使用します。マスキングテープは②リヤスパッツ LH 外周に沿って正確に貼り付けてください。



TT-GE-B07

9. ⑩カーボンシートを②リヤスパッツ LH とリヤバンパーカバーの間に、しわ・たるみが生じない様に挟み込み、⑦ケガキ部品取付け部をリヤバンパーカバーに押し当てる。
10. ②リヤスパッツ LH を取外す。



TT-GE-B07

11. ⑩カーボンシートをめくり、マーキングが図の位置にあることを確認する。

⚠ 注 意

- マーキングが薄い場合や図の位置に無い場合は、もう一度②リヤスパッツ LH を位置決めし、再マーキングしてください。
- ⑩カーボンシートは①リヤスパッツ RH を取付ける際に再使用します。破れないように注意してください。

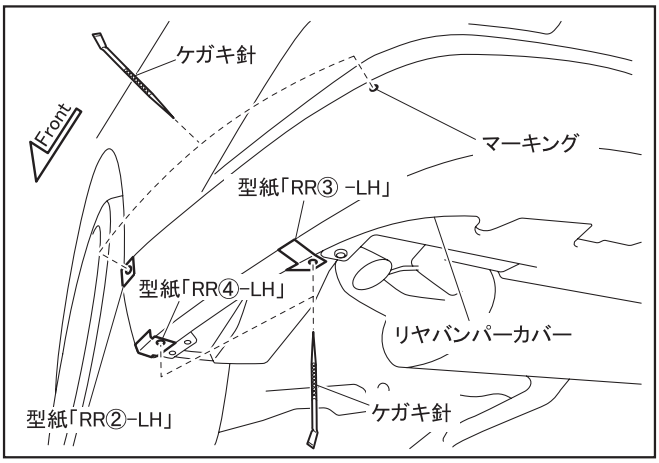
12. ⑦ケガキ部品（1 個）を②リヤスパッツ LH から取外す。
13. ⑩カーボンシートを取外す。

・穴あけ加工

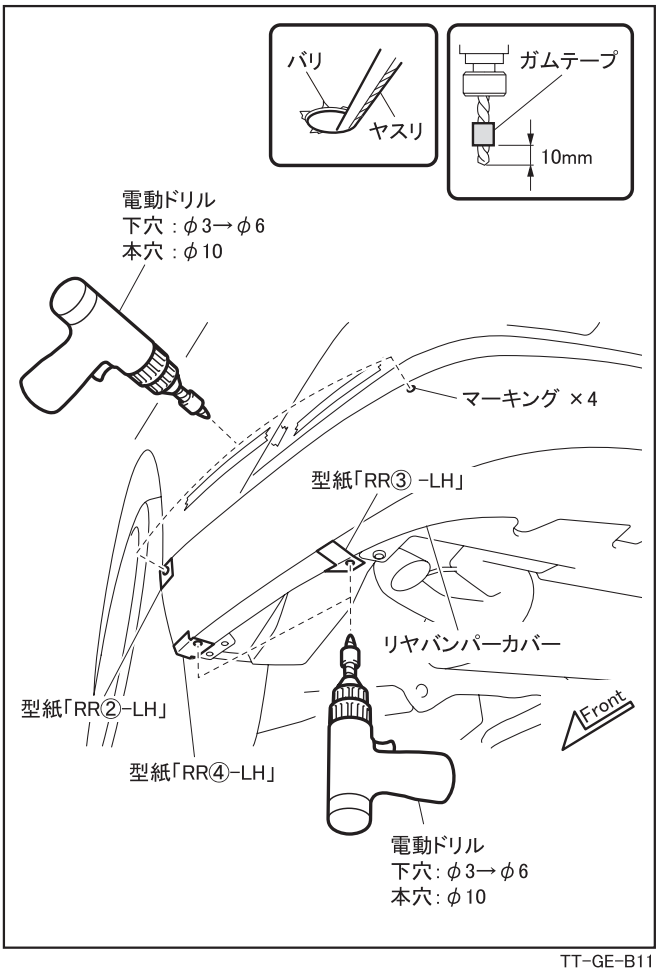
1. 各型紙の穴あけ位置中心（3 箇所）及び、マーキング位置（1 箇所）をケガキ針でマーキングする。

⚠ 注 意

ケガキ針は、必ずケガキ印及びマーキング位置の中心に行ってください。



TT-GE-B09

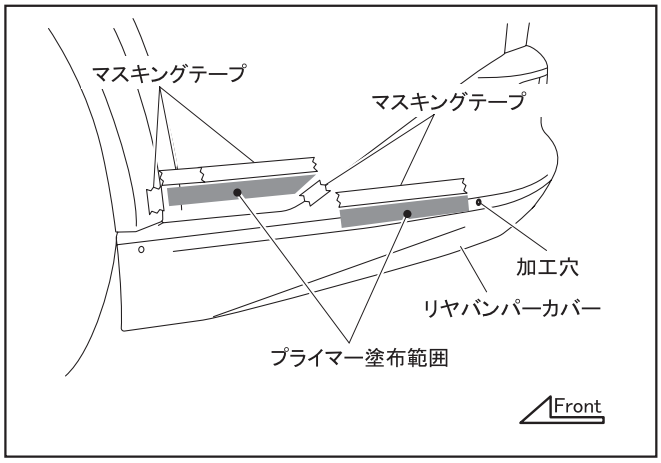


TT-GE-B11

2. ドリル（φ 3、φ 6、φ 10）にストッパー（ガムテープ）をセットする。
3. リヤバンパーカバーのマーキング（4 箇所）に、電動ドリルでφ 3 →φ 6 →φ 10 の順番で穴を開ける。
4. 各型紙をすべて剥がす。
5. 加工穴（4 箇所）のバリをヤスリで取除く。

⚠ 注 意

- 電動ドリルは、穴を開ける面に対して垂直に当ててください。
- 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用し、ドリルに巻き込まれる恐れがあるため手袋等は着用しないでください。



TT-GE-B12

・プライマーの塗布

1. イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、プライマー塗布範囲を一方向に拭いて脱脂する。

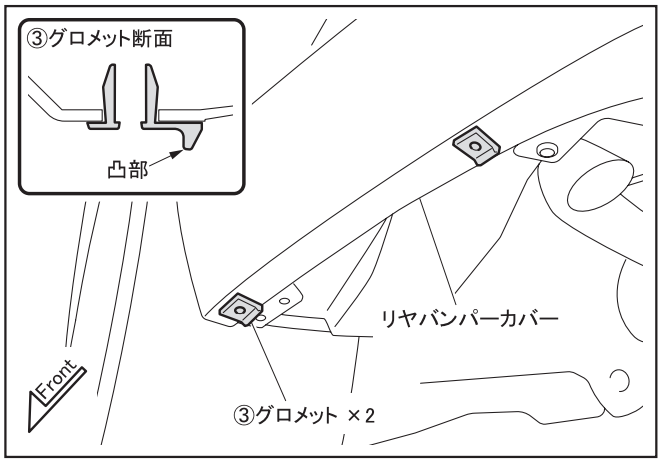
アドバイス

脱脂後は、十分に乾燥させてください。

2. プライマー塗布範囲（脱脂した範囲）に⑧ PAC プライマー N-210NT を塗布する。

⚠ 注 意

- イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は、火気に充分注意してください。
- プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
- プライマーを塗布する際は、製品からはみ出さないように塗布してください。
- プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと変色することがあります。



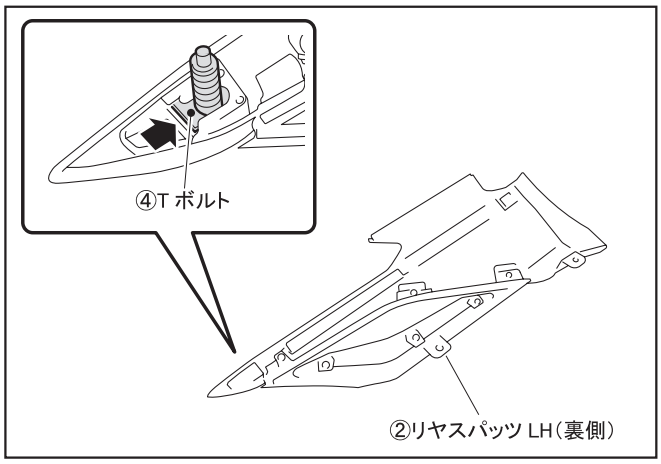
TT-GE-C01

・リヤスパッツの取付け

1. ③グロメット（2 個）をリヤバンパーカバー下側の加工穴（2 箇所）に取付ける。

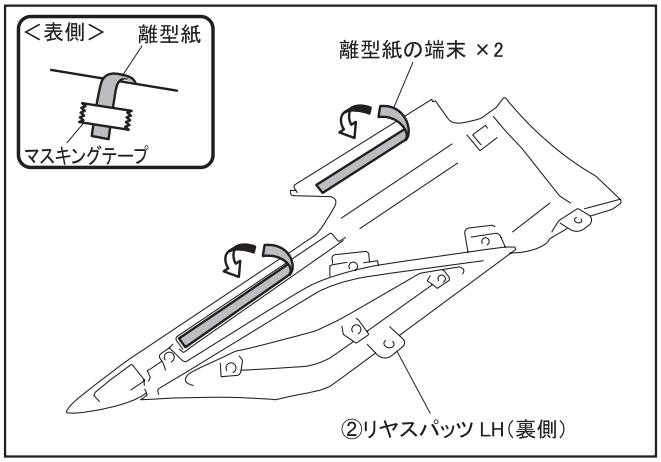
⚠ 注 意

- グロメットには方向性がある為、図を参照し、凸部を車両内側に向けて取付けてください。
- 傷付き防止の為、②リヤスパッツ LH は保護シートの上で取扱ってください。



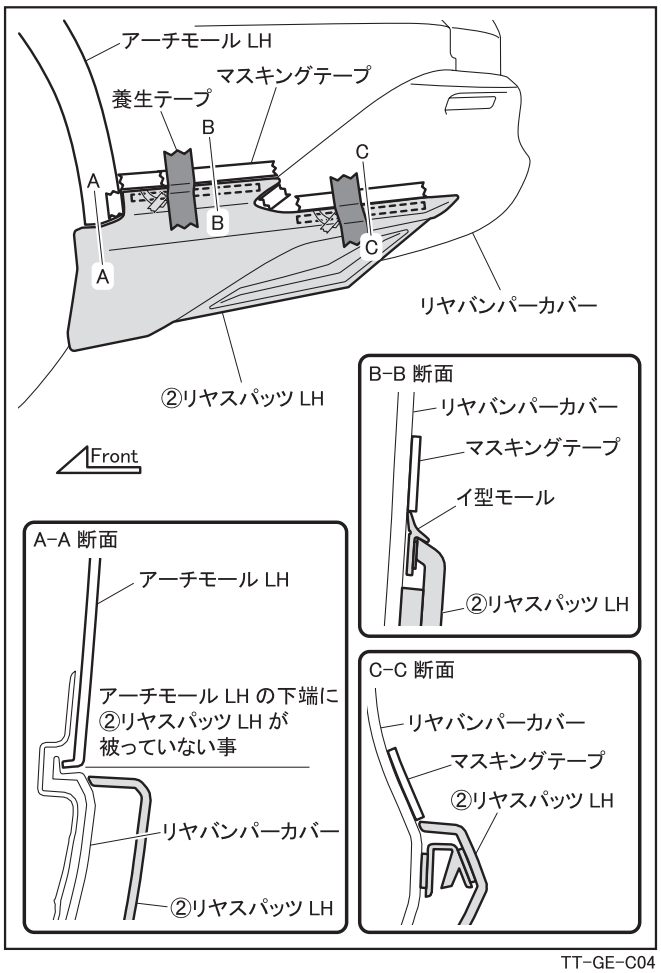
TT-GE-C02

2. ④ T ボルト（2 個）を②リヤスパッツ LH 裏側に取付ける。



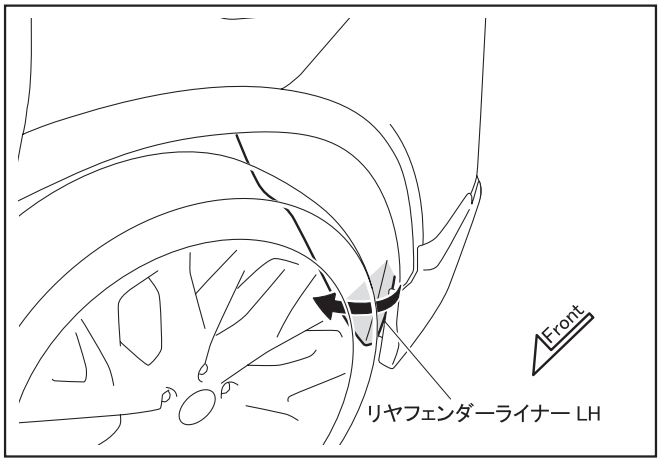
TT-GE-C03

3. ②リヤスパッツ LH 裏側の離型紙の端末（2 箇所）を 50mm 程度めくり、表側に折り曲げてマスキングテープで固定する。



TT-GE-C04

4. ②リヤスパッツ LH を位置決めし、養生テープでリヤバンパーカバーに仮固定する。

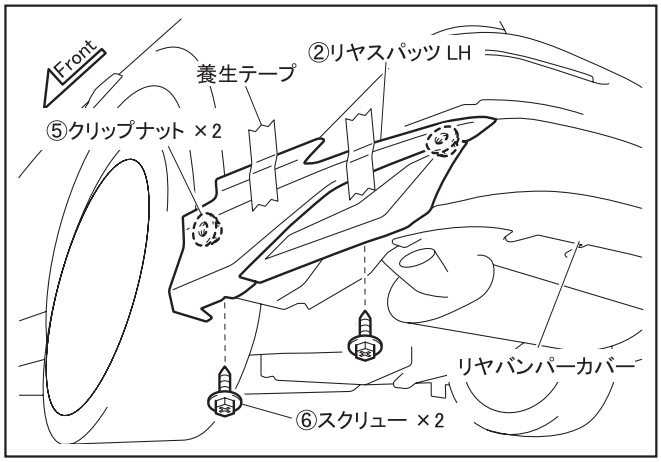


TT-GE-C05

5. リヤフェンダーライナー LH の図中アミ掛け部をめくる。

アドバイス

後工程の、⑤クリップナット（車両前側）を取付ける際、リヤバンパーカバーとリヤフェンダーライナー LH の隙間から作業をします。



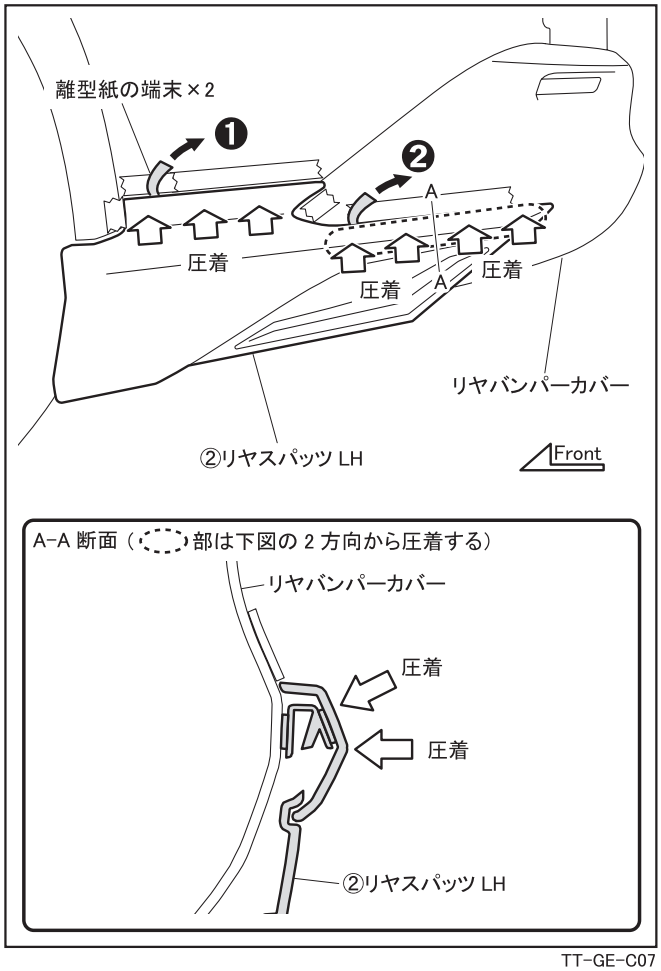
TT-GE-C06

6. ⑤クリップナット（2 個）及び⑥スクリュー（2 本）を軽く締め込み、②リヤスパッツLHを仮固定する。

アドバイス

⑤クリップナット（2 個）及び⑥スクリュー（2 本）は、ネジ山が少しかかる程度に締め込んでください。強く締め付けると両面テープの離型紙が剥がせなくなります。

7. 養生テープを剥がす

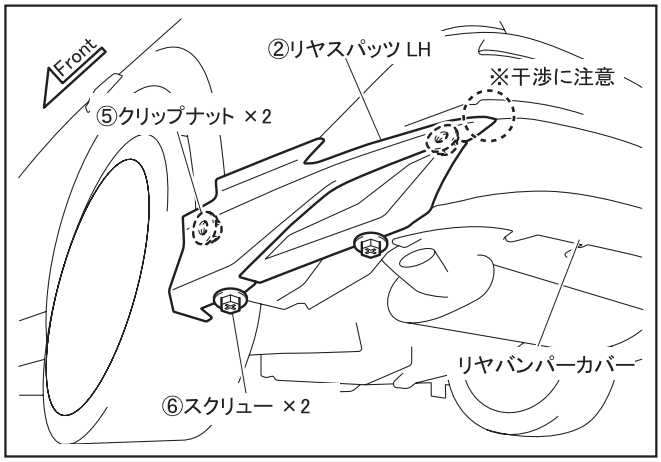


TT-GE-C07

7. 離型紙の端末（2 箇所）を❶❷の番号順に引きながら、両面テープ部を矢印方向に圧着する。

⚠ 注 意

圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかりと加圧してください。

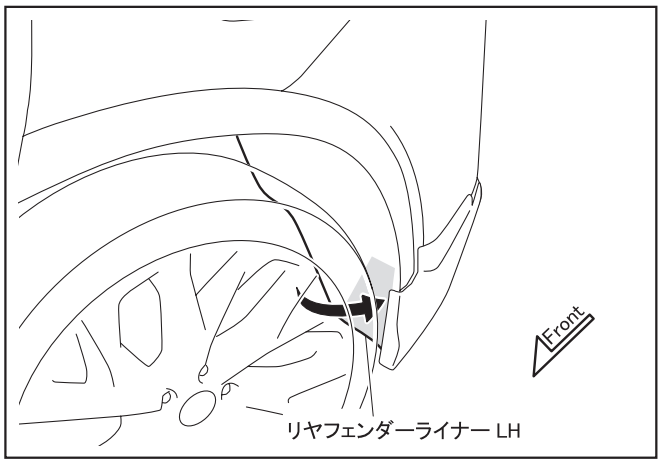


TT-GE-C08

8. ⑤クリップナット（2 個）及び⑥スクリュー（2 本）を本締めし、②リヤスパッツ LH を固定する。

アドバイス

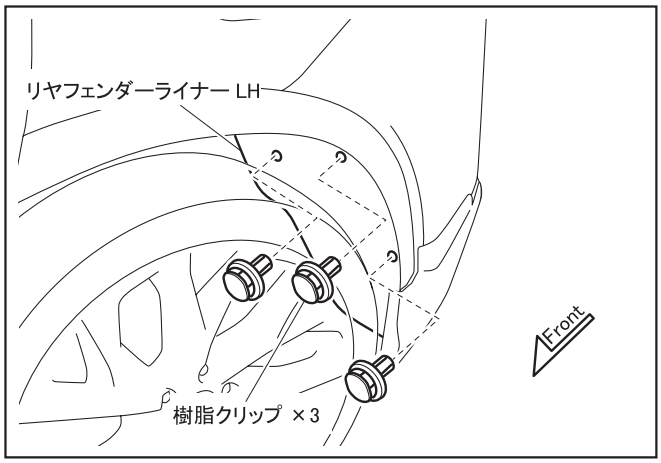
⑤クリップナットを過度に締め付けると、図中※で示す隙間が無くなり、②リヤスパッツ LH とリヤバンパーカバーが干渉する恐れがあります。干渉した場合はクリップナットの締め込み量を調整して、隙間を確保してください。



TT-GE-C09

・部品の復元

1. 作業スペース確保のためにめくったリヤフェンダーライナー LH の図中アミ掛け部を戻す。



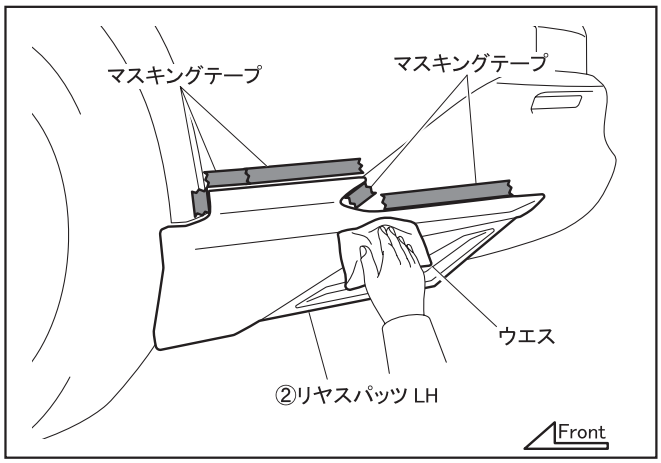
TT-GE-C10

2. 樹脂クリップ（3 個）でリヤフェンダーライナー LH を固定する。



TT-GE-C11

3. 樹脂クリップ（3 個）でリヤバンパーカバー左側を固定する。



TT-GE-C12

4. マスキングテープをすべて剥がす。
5. きれいなウエスをあてがい、再度両面テープ部を加圧する。

■ 取付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びリヤスパッツに傷が付いていないことを確認してください。

⚠ 注 意

特に指示のない限り、取外した車両部品は再使用しますので、紛失しないよう整理してください。

アドバイス

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が掛からないように、
オープンタイム（静止時間）お取りください。

■ 未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MSD43-30010-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主に LH 側を示しており、RH 側も同様に行ってください。

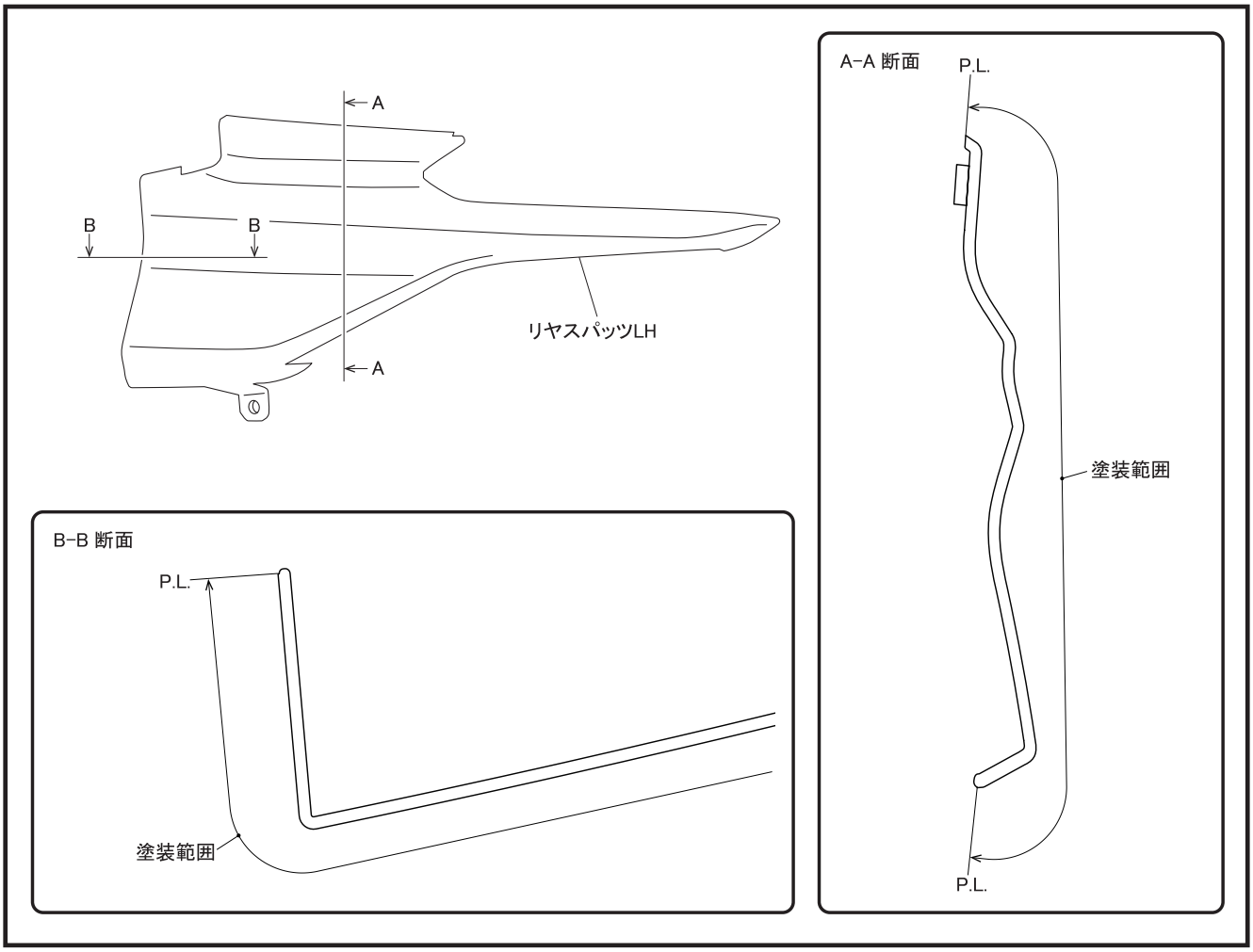
・リヤスパッツの塗装

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取除き、脱脂作業を行う。
2. 製品に取付けてある両面テープ及びエンドモール貼り付け部（以降記載の「・塗装範囲」を参照）をマスキングする。
3. プライマーサフェーサー塗装を行う。（本製品の素材は＞ PP ＜です）
4. 上塗り塗装を行う。
5. 乾燥

⚠ 注 意

- 乾燥温度を 70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には充分に注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
- エンドモール貼り付け面は漏れがない様にマスキングしてください。

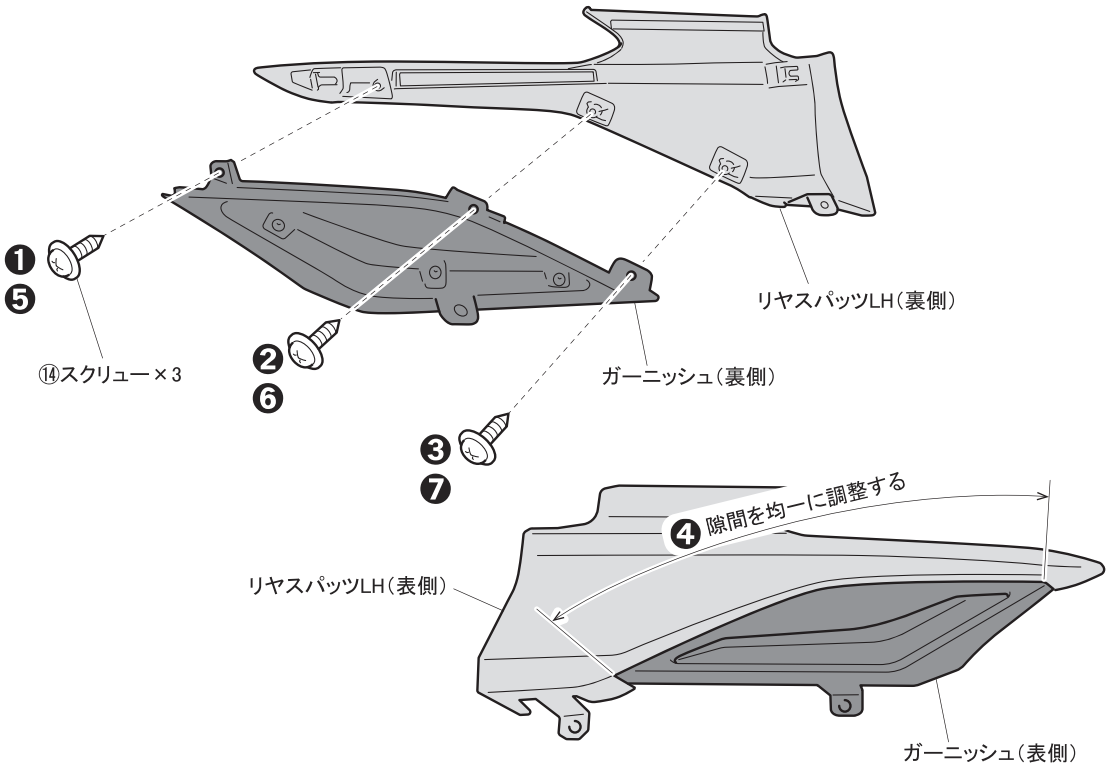
【塗装範囲】



TT-GE-002

・リヤスパッツの組付け

1. ⑭スクリュー（3 本）を❶～❸の番号順に仮締めし、リヤスパッツ LH にガーニッシュを仮固定する。
2. ❹で示す隙間を均一に調整する。
3. ⑭スクリュー（3 本）を❺～❼の番号順に増締めし、リヤスパッツ LH にガーニッシュを固定する。



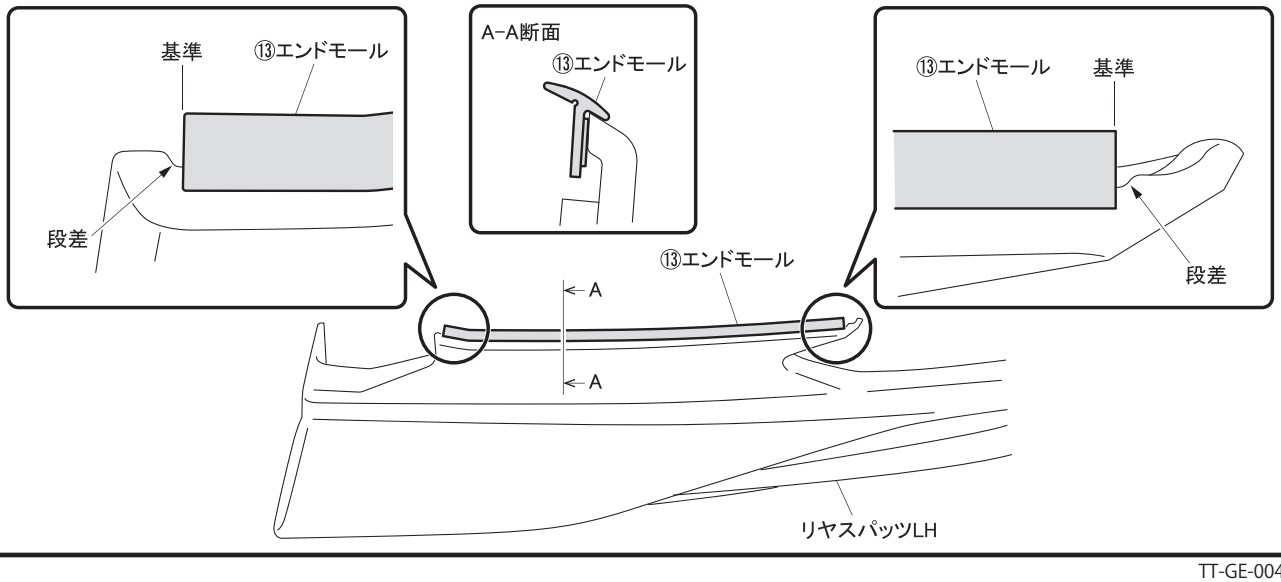
TT-GE-003

・エンドモールの取付け

1. エンドモール貼り付け部分を脱脂し、PAC プライマー K-500 を塗布する。
2. 下図の要領でエンドモールを貼り付ける。

⚠ 注 意

- PAC プライマー K-500 は塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
- PAC プライマー K-500 塗布後は、常温で 10 分間以上放置し、乾燥させてください。



TT-GE-004

■ 補修キット両面テープ貼り位置

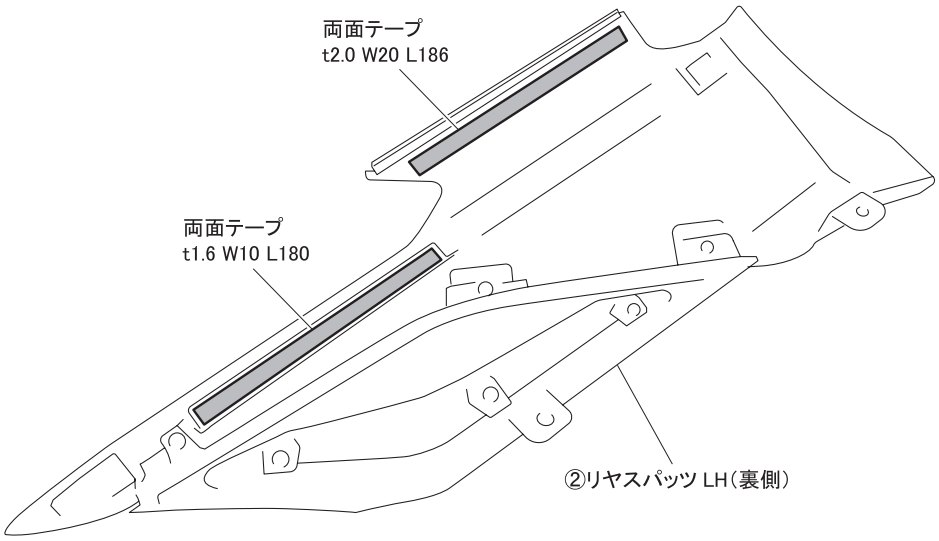
※本取付け・取扱要領書は、主に LH 側を示しており、RH 側も同様に行ってください。

1. 両面テープ貼り付け部分を脱脂し、PAC プライマー K-500 を塗布する。

⚠ 注 意

- イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は、火気に充分注意してください。
- プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
- プライマーを塗布する際は、プライマー塗布範囲からはみ出さないように注意してください。
- プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと変色することがあります。

2. 下図を参照に両面テープを選択し貼り付ける。



TT-GE-005

株式会社 トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
MODELLISTA 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

脱脂作業要領書

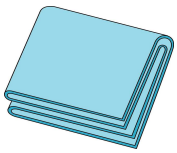
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

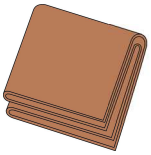
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

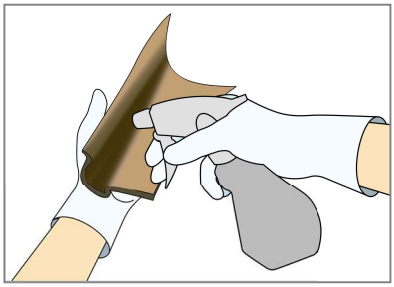

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

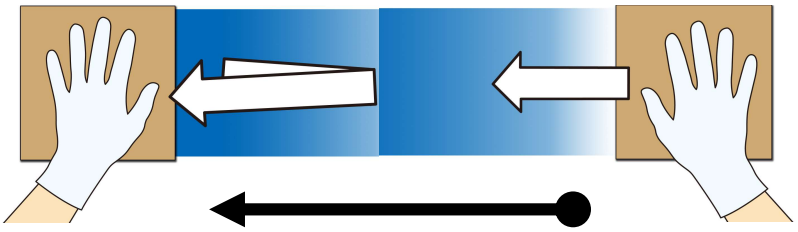


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

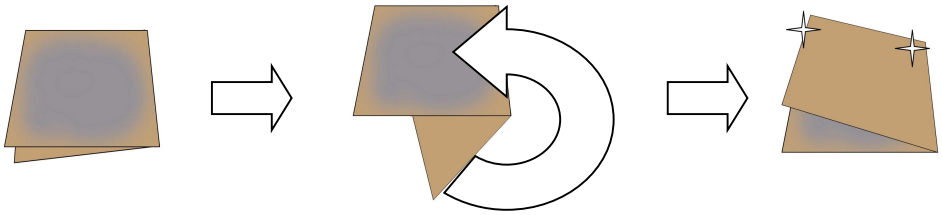
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。